

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションビジネス I Fashion Business I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟・3F			授業中に指示します
授業の概要				
ファッション業界の成り立ちやそれを取り巻く環境、商圏の変化などを学ぶ。具体的には素材・生産企画・製造・仕入・販売・販促・流通・情報など、ファッションビジネスを幅広く理解する。				
授業の目標				
ファッション商品の素材・製造・流通・販売までの流れを学ぶことができる。ファッションビジネスの専門用語を理解し、ファッション商品や消費社会としてのファッションビジネスを理解することができるようにする。				
授業の方法				
教科書中心であるが、近隣の商圏での現地視察を組み入れながら理解を深める。その際は現地集合とする。				
学習の成果（学習成果）				
ファッションビジネスに関する専門用語を理解することができる。ファッションビジネスの基礎知識や企業と消費者・生活者の立場で流通に関することを理解することができる。ファッションビジネスを広い視点で理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス ファッションビジネスの歴史と成り立ち ①オートクチュール創設			
第2回目	ファッションビジネスの歴史と成り立ち ②既製服時代 ③2000年以降 近年の流行現象			
第3回目	地域社会におけるファッションビジネスの役割（生活環境・生活情報の提供）			
第4回目	アパレル小売業の構造① イオン専門店街の視察		[現地集合・解散]	
第5回目	アパレル小売業視察② アウトレットモール視察		[現地集合・解散]	
第6回目	アパレル小売業視察報告 発表			

第7回目	学生の近隣商圏の視察（百貨店・路面店・ショッピングセンター・量販店・通販）		
第8回目	デザインとマーケティング、ブランド商品企画		
第9回目	販売技術と陳列からファッションビジネスを学ぶ		
第10回目	アパレル品質マネジメント 消費者対応	[レポート提出]	
第11回目	日本の流通・海外の流通		
第12回目	バイヤー業務・販売・販促・広報・プレスの仕事	[レポート提出]	
第13回目	商品プレゼンテーション（VMD）		
第14回目	グローバル化するファッションビジネス	テスト	
第15回目	ファッションビジネスの今後、まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	授業に集中し、教員の質問に答えられているか、自分の考えを述べているか。
	レポート	20%	内容にあった提出で、期限内に提出されたか。
	調査報告書	10%	自ら調査し、テーマに沿った内容でまとめられているか。
	小テスト		
	試験	60%	授業内容を理解し、設問にきちんと答えられたか。
	発表内容（態度含む）		
	その他		
教科書と参考図書			
ファッションビジネス（文化服装学院編） 図解アパレルハンドブック（東洋経済新報社）			
履修上の留意点・ルール			
積極的な受講を望む。授業の遅刻、私語、携帯の使用は禁ずる。			